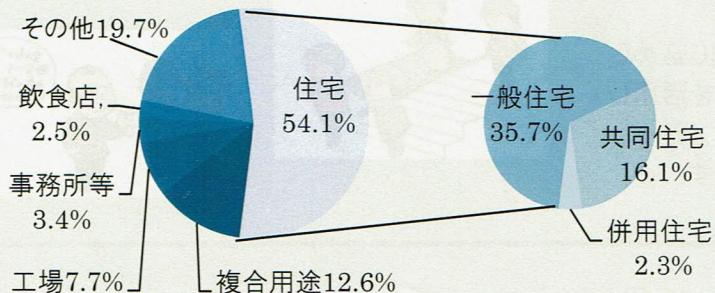


コムワンだより

No.80
2018.10.12

火災の原因

平成 28 年の建物火災のうち、住宅火災は 12,097 件で総出火件数の 50% を超えています。そのうち、共同住宅火災が 3,373 件で約 16% を占めています。火災の発生原因について、下表の通り、コンロの消し忘れによる火災が最も多く、次いでタバコの不始末による火災、ストーブが可燃物と接触することによる火災が多くなっています。



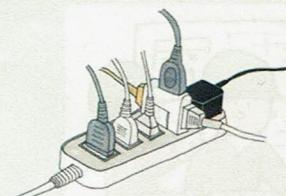
建物の火災種類及び住宅火災の種類(図.1)

順位	原因	構成比
1	コンロ	18.4%
2	タバコ	12.8%
3	ストーブ	8.2%
4	放火	7.3%
5	配線器具	4.6%
6	電灯電話等の配線	4.2%
7	電気機器	3.3%

住宅火災の原因(表.1)

火災への予防

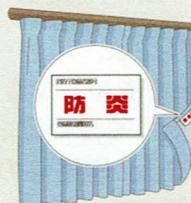
火災が発生してから消火活動をとることより、火災を未然に防ぐことがマンション及び居住者の損失を最小限に抑えます。例えば、タバコなどの火はしっかりと消すことや、料理中にその場を離れないこと等、ちょっとしたことが防火のポイントになります。また、放火による火災は全火災件数の 7.3%を占めて少なくない点から、可燃物を共用部分等に放置しないように注意を払うことも肝要です。



たこ足配線は極力避け、コンセントの挿し込み口にたまるホコリはこまめに拭き取りましょう。



コンロ使用中にお客様や宅配便等の訪問などで目を離す場合は短時間でも火を消しましょう。



万が一、発火した場合でも
極力燃え広がらないように防
炎素材のものを使用する。

室内防火对策：防炎物品

- ▶ 防炎物品とは、燃えにくい性質があり、繊維などの燃えやすい性質を改良して消防法に定められた防炎性能基準の条件を満たしものです。



1分30秒経過



图.2

- ▶ 図 2 の通り、防炎物品は繊維等が小さな火源(マッチやライターなど)に接しても炎が当たった部分が焦げるだけで容易に燃え上がらず、着火しても際限なく燃え広がりません。住宅防火対策として火災被害の軽減に効果があります。

出典:公益財団法人 日本防炎協会

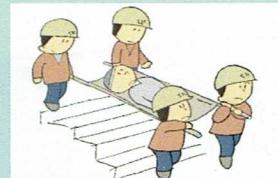
コムワンからのお役立ち情報

今後30年～50年の間に、M8クラスの「南海トラフ巨大地震」とM7クラスの「首都直下地震」の発生確率は70%と予想されています。巨大地震が発生すると、ケガをしたり、エレベーターに閉じ込められたり、避難しなければならなかったりと、様々な被害を受けることが考えられます。個人では対応しきれないこともあります。そこで管理組合の力が必要となります。

震災の際における管理組合の対応

安否確認と救助・救護

居住者が住戸の中で家具の下敷きになつたり、閉じ込められていたりする可能性があります。居住者名簿等を活用して、各戸を見回りして居住者の安否を確認します。万一、ケガをしている人を発見したら、救出活動を行います。



建物の被害状況の確認と応急処置

- 危険な箇所、エレベーターや自動ドア、給排水、ガス等の被害を調べます。確認された被害状況によって、危険箇所、ライフラインの使用禁止等を居住者に周知し、二次災害を防ぎます。
- 非常用の給水装置、発電機や仮設便所等がある場合は装置をセットし、災害時にも良好な衛生環境を保ちます。



情報の収集、伝達、発信

震災の際には、インターネットが繋がらない場合もあります。個人で情報を収集することが難しくなるので、管理組合で建物の被害や復旧の見通し、居住者の避難先、住戸内の立入り連絡等の情報を集めて、マンションの掲示板や広報にて伝達します。



見回り等の防犯活動

玄関扉やオートロックが破損したり、夜間が停電したり、避難による留守が増えたりしますので、不審者がマンションに侵入するおそれがあります。居住者の皆さまの安全を守るため、見回りなどの防犯活動を行いましょう。



防災グッズの備え

マンションにおいて地震が発生する際、エレベーターが止まつたり、通路や階段で天井や壁が落下したりします。そして、外や地上への移動が困難になる場合があります。このようなシチュエーションに備えるため、各住戸は低層階が3日分以上、高層階が1週間分以上の食料、水等非常食が必要です。



非常食セット

水も電気も使えない時にそのまま食べられる食品と、ライフラインが復旧した後も簡単に作られる主食系を用意している豊富なセットです。



保存水

7年間という長期間保存が特徴です。無菌状態でボトリングしているので、通常のミネラルウォーターと比べ、買い替えの手間が省けます。

